

株式会社パルコにおける 業務改革と情報基幹システム

さらなる成長を目指し、現在を「第2創業」と位置づけるパルコは、スピード経営、運営体制の刷新、本業強化の3つをテーマとする業務改革を進めてきた。そのために必要な情報基幹システムのツールとして選択したのがディサークルの企業ポータル「POWER EGG」だ。社員の「気づき」を促す階層化されたポータルと、ツールの「いいとこどり」を受け入れられる懐の深さを持つPOWER EGGは、パルコの業務改革のキーアイテムと言えるだろう。



株式会社パルコ
事務システム担当
柳下 克己 氏

力」を基盤としたデベロッパー事業の強化を目指している。

成長のための課題は5つある。構造改革、店舗改装、新規事業展開、組織体制のリニューアル、業務提携である。それぞれを簡単に説明すると、構造改革は、コア・コンピタンスを再確認し、「総合デベロッパー」から「商業デベロッパー」へ経営資源の集中を図ることである。店舗改装は、テーマ性と提案性を持った改装を行い、新生感を出してそれを店舗全体に波及させること。新規事業展開は、コンサルティングなどを手がけて既存のイメージを超えること。組織体制のリニューアルは、社外識

者の見識を採り入れた透明性の高いコーポレートガバナンス体制の構築と収益力の強化。業務提携は、森トラストとの提携によるビジネスチャンス拡大である。業務分析や人的資産の棚卸を含めた、総合的な業務改革プロジェクトとして発足させ、社員の手による改革を進行させた。

その結果、次の3つが業務改革のテーマとして浮かび上がった。スピード経営、運営体制の刷新、本業強化である。これも簡単に説明すると、スピード経営は現場への決裁権限の大幅な移譲と社内情報の共有化を、運営体制の刷新は店舗の自主性強化と本部・店舗の役割分担の変革を、本

さらなる成長のため 「POWER EGG」を選択

都市圏を中心に、小売専門店をテナントとして編集・集積して商業施設を開発・運営しているパルコは、都市型商業デベロッパーである。その特色は、(1)テナントの最適化(2)衣料品テナントの構成に強い(3)営業料収入はテナント売上高に対する歩合(4)小売業界において独自のビジネスモデルを構築・発展させた、の4点が挙げられる。国内19店舗、海外にも1店舗を持ち、売上高は国内だけで約2450億円に達している(2002年度)。

パルコでは、さらなる成長のため、現在を「第2創業」と位置づけ、パルコ本来の強みである「商業施設のプロデュース

図 POWER EGGを活用したトップ画面例



「気づき」が会社を変える



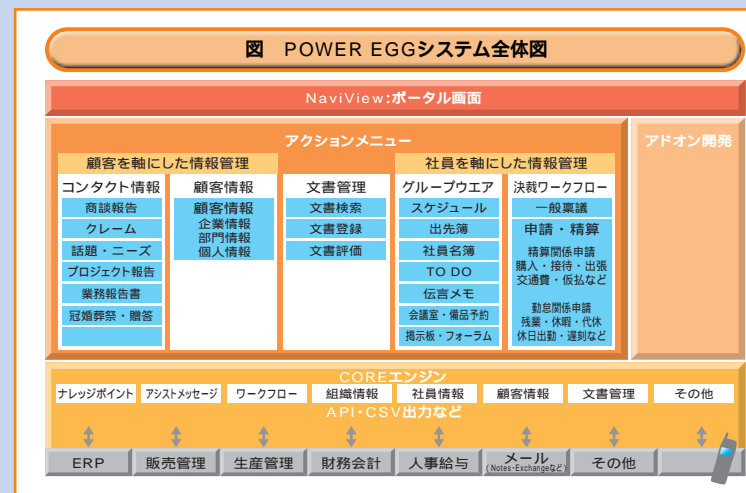
ディサークル株式会社
代表取締役

西岡 毅 氏

ディサークルの企業ポータルPOWER EGGは、2000年3月のリリース以来、約630社/9万6000ライセンスの販売実績をあげている。顧客はサービス業・製造業から自治体まで幅広い。

POWER EGGの特長は、ひと言で言えば「経営者の想い」を設計思想とし、「システムが人に近づく」操作性を実現したことである。具体的に言えば、従来見えなかった情報を可視化することで社員の「気づき」を促し、スピーディーな行動を起こせる場を提供できることだ。企業が必要とする情報の収集と活用を活性化し、実践的なナレッジマネジメントが可能になるのである。これは実務に即して言えば、ビジネスプロセス上の問題点や課題を顧客と社員というふたつの視点から見られるということである。それがビジネス成功の要となることは周知の通りである。また、POWER EGGはシームレス型オールインワンパッケージなので、構築期間は短くて済むし、低コストである。

機能面では、グループウェアやワークフローといった基本的なメニューに加え、業種固有の機能をアドオンできるし、基幹システムと双方向で連携させることもできる。状況に対する社員の「気づき」の有無は、ビジネスを左右する。「気づき」は会社を変える力を持っているのである。その「気づき」を促すPOWER EGGは、会社を変える原動力になると自負している。



業強化はマーケティング力強化・現場優先主義・ナレッジマネジメントをキーワードとしている。そこで、これらを実現できるシステムが必要になった。

システム導入に際しては、次のことを念頭に置いた。まず業務の入り口機能を果たし、かつナレッジマネジメントを実現するツールを選ぶ。さらにツールの「いいとこどり」も考えた。業務改革を行うのであるから、業務分析は徹底して行う。さらに他社の失敗事例の分析も必要である。そして業務運用に違和感がなく必要な機能を備えている。

これらを考えた上で、ツールとしてディサークルの「POWER EGG」を選び、2002年3月1日から運用を開始した。インテグレートはネットワーク構築が富士通ビジネスシステムと富士通システムソリューション、ソフトウェア系とサーバーのアウトソ

ーシングはアイネスである。ID保持者は、現在650人である。

「いいとこどり」を受け入れる POWER EGGの懐の深さ

ここで、パルコにおける「POWER EGG」を使った情報基幹システムを簡単に紹介しておこう。ログイン画面 組織ごとのポータル 個人ポータルと階層化されている。

個人ポータルでは「いいとこどり」を具体化して、Net It Knowledge Search Plusを活用、マーケティング情報、各店舗のスケジュール、社内規定などへジャンプできるようにしている。また、フォーラムを設けて社員間での問い合わせに使用している。日本全国で店舗を展開しているため、季節ごとのトレンドが重要で、なおかつ社員それぞれの休日が違うパルコにとって、マ

ーケティング情報の共有化やフォーラムの設置は欠かせない。それを組み込める懐の深さは、パルコが情報基幹システムの基本ツールとしてPOWER EGGを選んだ大きな理由である。

特に、ログイン画面にメッセージの形で経営上層部の意思を表せることは、現場にとって役立つだけでなく、経営上層部が自分の考えを示すことを通じて情報基幹システムの重要性を知ることにもなるので、非常に重要である。

お問い合わせ先

ディサークル株式会社
〒104-0033 東京都中央区新川1-16-3
住友不動産茅場町ビル9F
TEL 03-3523-5611
FAX 03-3523-5612
e-mail nikkei@d-circle.com
URL http://www.d-circle.com